

オンライン対話型鑑賞 「原爆の図」を通して核兵器を考える



6月18日(土)@zoom
16:00~17:30(予約制)
企画：原爆の図 丸木美術館



オンライン対話型鑑賞 「原爆の図」を通して核兵器を考える

2022年6月18日(土) 16:00~17:30

定員：15名(無料・予約制・先着順)

申込：<https://forms.gle/qUPQ3cJkV98KGuBb8>

原爆を描いたひとつの絵画をみんなでじっくりと鑑賞し、それぞれの視点や気づき・発見を共有し合いながら、絵の持つ意味やメッセージを探究していく【参加型イベント】です。

「対話型鑑賞」では、作者に関すること、作品の意味、絵についての知識や「こたえ」を専門家から教えてもらうのではなく、参加者が感想や自由な発想を話し、互いに聴きながら対話を進めていきます。美術館はもちろん、近年では学校などでも、広く活用されている手法です。

今回は、丸木位里・丸木俊夫妻が描いた「原爆の図 第八部 救出」を通して、原爆投下後の様子を追体験し、核の被害について考えます。対話をしながら鑑賞することで、ひとつの絵から新たな気づきが得られる体験です。ぜひご参加ください。



【過去の参加者の声】

・これまで《原爆の図》は、悲惨な絵、可哀想な絵という印象しか持っていませんでしたが。細かいところまでじっくり見ると、描かれた一人ひとりのドラマや感情が見えてきたような気がしました。人間の嫌なところから愛など人間模様が感じられて、実りがある豊かな時間でした。

・普段、戦争や原爆についての話を聞いても、時間や距離が離れているように感じていたのが、想像を膨らませることでリアルに、身近に感じられて驚きました。

▼企画の流れ（予定）

- ・参加者自己紹介
- ・丸木美術館と原爆の図についてのご紹介
- ・対話型鑑賞
- ・振り返り（感想の共有）

▼参加にあたってお願いしたいこと

1. 本企画はWEB会議ツール・Zoomを利用して実施します。あらかじめダウンロードや動作確認を済ませたうえで、当日ご入室ください。
2. 場の安心・安全を確保するため、また、コミュニケーションがスムーズに進むよう、基本的には「ビデオON」でご参加ください。ご事情がある場合はご相談ください。
3. できるだけ対話に集中できる環境（周音が騒がしくない等）を整えてご参加ください。
4. ご予約の方には、あらかじめ当日鑑賞する絵を見られるURLをお送りします。事前に見ておくことをおすすめします。※必須ではありません。
5. 当日は、お手元のデバイス（PC・スマホ・タブレット等）で、絵とZoomのビデオ通話画面を両方見ていただきながら企画が進むこととなります。複数のデバイスをお持ちの方は、「絵を見る用（PCなど画面が大きいもの）」と「Zoomにつなぐ用」のデバイスを分けるのもおすすめです。

丸木美術館とは・・・

原爆の図 丸木美術館は、画家の丸木位里・丸木俊夫妻が、共同制作《原爆の図》を、誰でもいつでもここにさえ来れば見る事ができるようにという思いを込めて建てた美術館です。

丸木夫妻は、原子爆弾が投下された直後の広島にいち早くかけつけ、救援活動を行いました。そして、戦後の米軍占領下、原爆被害の報道が厳しい検閲を受けていた時期に《原爆の図》連作を描きはじめました。

《原爆の図》は日本全国を巡回し、多くの人々に被爆の実情を広く伝えました。また、世界中でも展覧会が行われました。

その後も丸木夫妻は、戦争や公害など、様々な形の暴力に苦しむ人々に寄り添いながら、生涯をかけて作品を描き続けます。

現在、丸木美術館では、丸木夫妻の生命への思いを受け継ぎながら、《原爆の図》の常設展に加え、戦争や社会的なテーマを扱う芸術家の作品を紹介する企画展を開催しています。

原爆の図 丸木美術館 WEBサイト <https://marukigallery.jp>